

企業向け

人は環境で変わる

就労支援センター NEST



人は環境で変わる生き物

- 人は常に周りの環境の影響を受けている。
- 周りの環境が良ければ、良い状態を保つ。
- 周りの環境が悪ければ、悪くなっていく。

環境は自然環境だけでなく、
社会環境もまた含まれる。

自然環境と社会環境

- 自然環境の悪化の影響は、物理的であるため、目に見えた形で現れる。
- そのため、自然環境を大切にしなければならないという意識が生まれた。
- しかし、社会環境は目に見えないものであり、人間の内面から影響が現れる。
- そのため、重要視されにくい。

生活保護と社会環境

- 本来ならば、自らで生計を立てることができる社会であるべき。
- セーフティネットである生活保護に頼る人は、少なければ少ないほどいい社会。
- それにも関わらず、現実として生活保護に頼る人は大勢いる。
- 働くための社会環境が十分整っていないため。

働くための環境

例えば

- 幼い子供を預けることができずに働けない女性
- 親の介護のために仕事を辞めざるをえない男性

行政の支援不足の部分もあるが、
企業側で支援を行うことで、働くことができるようになる。

- 社内に託児所を作る。
- 短時間労働や自宅勤務を行える体制を作る。

社会環境の改善

- 様々な対策を行うことは企業にとって負担となる。
- しかし、生活困難者が増え、生活保護などの社会保障に頼ることになれば、結局は企業への負担が増える。
- 逆に自らの収入で自立した生活を送る人が増えれば、安定した消費者が増えることで経済の流れが活発化する。
- また、働くことを通して生きがいを感じ、自立した生活を送ることができる社会はよいものである。

フジ化学

- メッキ加工工場として昭和41年から操業。
- 創業時から障がい者雇用を行う。
- 工場のオートメーション化をきっかけに、障がい者の雇用を拡大。
- 多くの障がい者を従業員として迎える。

その中で感じたことは

障がい者にもできることはある。

むしろ、障がい者だからこそ向いている作業もある！

障がい者の自立を阻む社会環境

- 障がい者は保護すべき存在という認識が強かった。
- 障がい者のできないことばかりが意識され、周りに障がい者は働かなくてもいいという意識があった。

社会環境として、障がい者の自立が難しかった。

変わり始めた流れ

- 平成17年の障害者自立支援法の制定
- 保護一辺倒から、自立を求めるものへ。
- 障がい者もまた自立できる可能性がある存在であると意識され始めた。
- しかし、意識されただけでは意味がない。

障がい者の可能性を信じ、能力を引き出し伸ばす場、それを実際の就労へ繋げる場が必要。

ココロネ 株式会社

- 平成21年2月17日 ココロネ 株式会社設立
- 平成21年3月1日 就労継続支援A型事業開始
- 平成22年5月1日 就労移行支援事業開始
- 平成24年4月1日 就労継続支援B型事業開始

障がい者の就労支援活動

- 就労に必要な社会性と自信を身につけ、能力を引き出していく。
- どのようなことが向くかを見極め、周りの環境を整えていく。

現在の利用者

平成25年10月1日

【就労移行支援】

身体障がい	1名
てんかん	1名
知的障がい	7名
高機能自閉症	1名
知的・発達障がい	1名
アスペルガー	2名
ADHD	2名
統合失調症	1名
計	16名

【就労継続A型】

重度知的障がい	12名
知的障がい	5名
高機能自閉症	1名
計	18名

【就労継続B型】

身体障がい	2名
身体・知的障がい	1名
重度知的障がい	2名
知的障がい	6名
高機能自閉症	1名
アスペルガー	2名
高次脳機能障害	1名
計	15名

総合計 49名

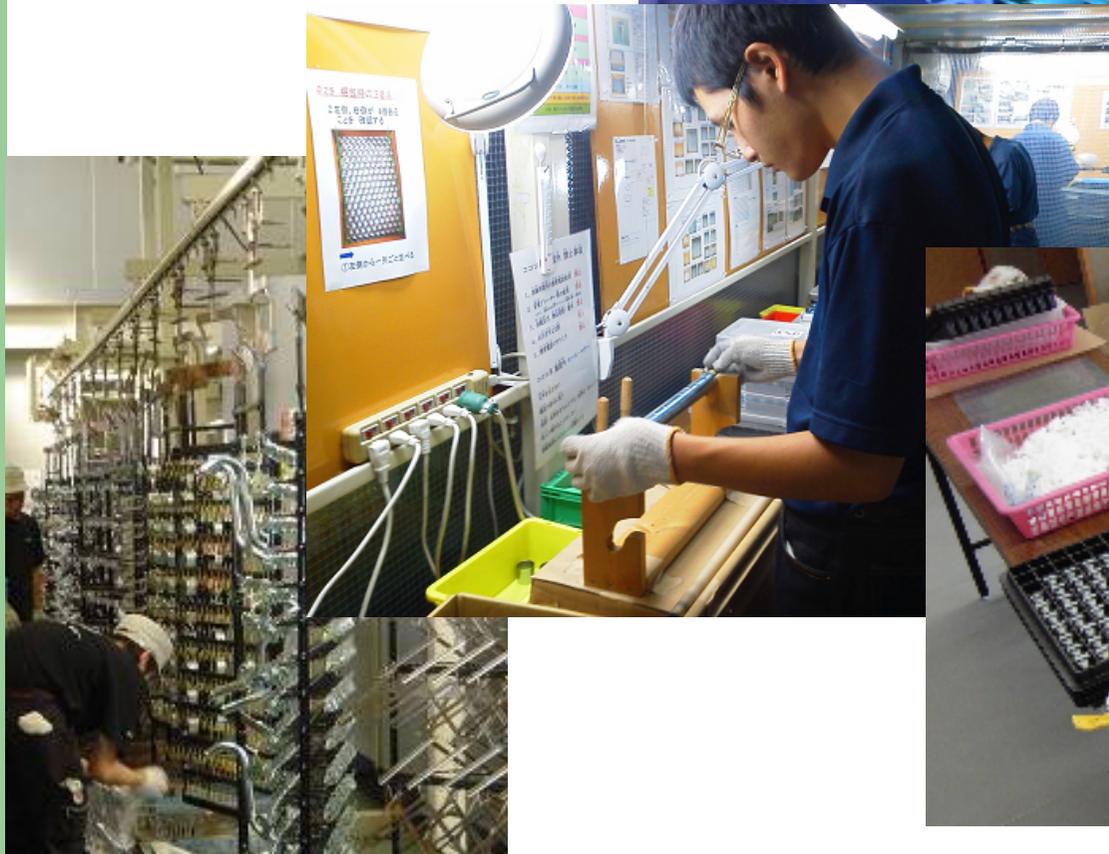
就労移行支援の訓練

- 手順をしっかりと説明する。
- 単純な作業で数をこなす。
- できた成果が数字でわかる。
- それが自信ややる気の継続に繋がる。

また次の作業への挑戦への気持ちになる。

扱うものが商品であることを意識させ、
作業の正確さや品質が重要であることを認識させる。

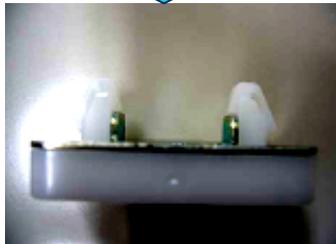
様々な作業



リング



クリップAssy



メッキ検査



ゲージ検査

内径検査



外径検査



農作業



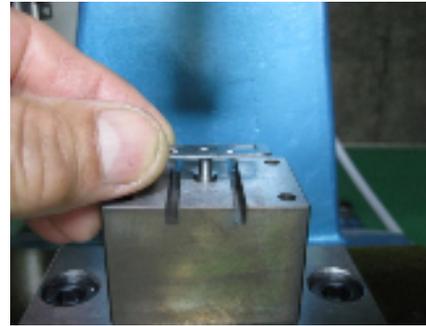
小麦、蕎麦、菊芋
じゃがいも、お米、
菜の花、ひまわり



庭園整備・清掃



プレス作業



つるし掛け



ウィルスブロッカー



ココロネの施設

クリーンブース



利便性のいい立地

- JR身延線源道寺駅から徒歩5分。
- 大月線を走る路線バス(富士宮駅ー吉原中央駅)のバス停(荻間)から徒歩5分。
- 利便性のよさから、送迎ではなく、自力通所が基本。
- 実際の就労時に、自力で通勤できるように。

就労移行実績

平成25年10月1日現在

【就労先】

- テルモ株式会社愛鷹工場 4名
- 有限会社佐野鍍金 2名
- 株式会社静岡セイコー 1名
- 株式会社エコネコル 1名
- 株式会社富士グリーンメンテナンス 1名
- 株式会社 ユニクロ 1名
- キノクロス加工(株) 1名
- マルハン 2名
- 富士山ドリームビレッジ就労継続A型 1名
- 就労継続支援A型事業所 ARATA 1名

合計 15名

就労継続支援B型

- 一般就労やそれに近い就労継続A型では難しい障がい者にも就労できる場を提供したい。
- 働いた分きちんとお金がもらえること、自分が稼いだお金で何かをすることができることは、人生の充足に繋がる。

障がい者の雇用

- 障害者雇用促進法により、民間企業（従業員56人以上）は雇用する労働者の2%に相当する障がい者を雇用することが義務付けられている（平成24年4月以降）。
- しかし、実際には納付金を払うことで障がい者を雇用していない企業は多い。
- 民間企業の法定雇用率達成企業の割合は46.8%（厚生労働省平成24年障害者雇用状況の集計より）

障がい者雇用と環境活動

障がい者が働きやすい環境作り

- 明文化されたルール、視覚化されたマニュアル、その認識の徹底、効率よく作業できる環境
- ミスをしない工夫、効率がよくなる工夫
⇒障がい者雇用をきっかけに手順や環境の見直し
- ミスによる不良品が減れば省資源に。
- 効率が上がれば省エネルギーに繋がる。

適材適所の社会

単純な作業を障がい者の仕事にすることで、
自らの仕事がなくなるという意見が出ることがある。

より高い能力を持つ人をより高い能力を必要とする仕事を
任せるとは当然のこと。

高い能力をもてあましては、人材としてもったいない！

それぞれの人がその人の能力を生かすことができる、
適材適所の社会のためにも、
受け皿となる協力企業を求めています。

ココロネ 株式会社 就労支援センター NEST

- 住所

〒418-0022 静岡県富士宮市小泉413-2

- TEL 0544-21-9000

- TEL 0544-21-9099

- FAX 0544-21-9071

- E-mail info@cocorone.co.jp

- HP <http://www.nest-cocorone.com/index.html>